

「AIを活用した事業開発ワークショップ」

人工知能（AI）を搭載した製品の開発には、関連データの収集が不可欠で、そのための社会実証・実装を同時に進める必要があります。そこで、関西地域におけるAIのビジネス活用の促進に取り組む大阪商工会議所（大商）と、国立研究開発法人 産業技術総合研究所（産総研）の人工知能技術コンソーシアムでは、今年12月（予定）に、AIの社会実証・実装を推進するためのコンテストを行うことになりました。

その一環として、このたび「AIを活用した事業開発ワークショップ」（8月24日、25日）を開催します。ワークショップでは、AI技術を持つ企業とAI活用のニーズを持つ企業が、デザイン思考の手法を使って理解を深め、共創を生み出すことを目指します。人工知能技術コンソーシアムが、東京の第2回定例会で7月に実施した人気のワークショップで、今回は、「AIを活用した人手不足の克服」を主題として、参加者の希望も踏まえたテーマ設定を行います。ぜひ、この機会にご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

【日 時】 平成29年8月24日(木)、25日(金)各回15:00～18:00 **【全2回の連続開催】**

※24日(木)18:30～懇親会を開催します(会費4000円程度、当日徴収)。ぜひ、ご参加ください。

【場 所】 大阪商工会議所 6階 白鳳の間 (大阪市中央区本町橋2-8)

【主 催】 国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研) 人工知能技術コンソーシアム、大阪商工会議所

【協 力】 大阪イノベーションハブ (大阪市)

【定 員】 40名(申込先着順)※全2回の連続開催。万一、連続参加が難しい場合は、ご相談ください。

【参加費】 コンソーシアム会員:無料 コンソーシアム非会員・大商会員 :3,000円/人(税込)

コンソーシアム非会員・大商非会員5,000円/人(税込)

【コーディネータ】 株式会社シグマクス 執行役員・マネージングディレクター 松岡 竜大 氏

【進め方】 1チーム3～4名(事務局でチーム分けします)で討議します。デザイン思考の手法を使い、持ち寄ったアイデアを参加者間の討議で磨き込み、事業提案にまとめます。

【内 容】 「AIを活用した人手不足の克服」を主題に討議します。テーマ検討の参考として、ご希望を以下から選んで、ご回答ください(複数回答可。ただし、当日は、討議テーマを2つ程度に絞ります。ご希望のテーマが、必ず討議されるとは限りませんので、あらかじめご了承ください)。

テーマ:a.技能伝承 b. 保守・保全 c.品質保証 d.人員配置 e.顧客対応 f.製品・サービス設計
g.ビジネスモデル開拓 h.バリューチェーン変革・異業種連携

【申込み】 以下の「参加申込書」にご記入の上、FAXにてお申し込みください(切り取らずにご送付ください)。

後日、「参加証」と「請求書」をお送りします(コンソーシアム会員は、「参加証」のみメールで送信します)。

【問合せ】 大阪商工会議所 経済産業部 産業・技術振興担当 玉川(TEL:06-6944-6300)

FAX送信先:06-6944-6249

経済産業部 産業・技術振興担当 行

◆◆◆ 「AIを活用した事業開発ワークショップ」 参加申込書 ◆◆◆

貴社名	(フリガナ)	会員区分	大商会員・非会員・ 人工知能技術コンソーシアム会員
所在地	〒		
御名前	(フリガナ)	部署・御役職名	
TEL	()	FAX	()
懇親会 (24日)	参加する ・ 参加しない	メール アドレス	
テーマ選択肢	a.技能伝承 b. 保守・保全 c.品質保証 d.人員配置 e.顧客対応 f.製品・サービス設計 g.ビジネスモデル開拓 h.バリューチェーン変革・異業種連携		

※複数名でお申込みの方は、本状をコピーの上、ご使用下さい。

※ご記入いただいた情報は、講師と協力機関には参加者名簿としてお渡しするほか、主催団体からの各種情報提供（Eメールでの事業案内含む）のために利用させていただきます。また、大商が産学官技術相談窓口で連携する大学や公設試験研究機関、行政機関の各種情報（大商後援事業含む）について、大商からご案内（Eメールによる案内を含む）する場合にも利用させていただきます。